



高橋 芳夫 議員

第一子から祝い金を手厚くしては

【回答】28年度予算編成の中で考えたい

高橋 芳夫 議員 金山町の将来を考えた場合、子どもを増やす施策、「子育てをするなら金山」と言われるような町づくりを積極的に推進すべきと考えている。出産時における支援のため出産祝い金について、これまでの支給額の経過と実績について伺いたい。

環境の変化を踏まえ、その都度支給対象並びに支給金額等を見直して、制度の充実を図っている。これまでの経過は、平成12年4月の

制度開始当時は支給対象を第3子以降とし、10万円、第4子は50万円、第5子は100万円を支給していた。その後、平成22年度からは第1子から支給対象とし、第1子は3万円、第2子は5万円、第3子は10万円

に拡充した。支給額の実績は、平成22年度から平成26年度までは2千999万円となっている。高橋議員 創設以降拡充されているが、子どもを増やす施策として、第1子からもっと手厚くしてはどうか。

健康福祉課長 平成26年度から平成31年度までの5年間を計画期間とする「新・かねやま子育て応援プラン」に取り組んでいる。「人づくり」「場づくり」「仕組みづくり」の3つの基本方針に沿って第1子から子育てしやすい環境の整備に取り組むものである。また、今年度から「家庭育児支援金交付事業」を開



親子ふれあい♪ベビーマッサージ講座

町長 第2子、第3子まで子どもを育てたいという方が増えていくためには見直しも必要だと考えている。

高橋議員 子どもを親たちだけで育てるのはなく、町全体で子どもを育てるんだという気持ちを示すためにも、

岸健康福祉課長 お子さんの誕生をお祝いし、健やかな成長を願うとともに、家庭内の子育て環境の安定並びに少子化の抑制に寄与することを目的として平成12年度から施行された社会情勢による子育て



赤ちゃん抱っこ教室

を支給。平成25年度からは、第1子は5万円、第2子は8万円、第3子は15万円とした。また、今年度からは第1子は8万円、第2子は15万円、第3子は20万円

もっと手厚く行政としてサポートしてはどうか。

町長 第3子まで子どもさんを持ちたいという方が多いので、その夢をまず実現できるように28年度の予算編成の中で考えたい。

中学校体育館下ピロティの整備を

【回答】利用団体と協議し対策を検討する



中村 忠行 議員

中村 忠行 議員 町では貸工場や公営住宅等の新規取得を進めているが、合わせて肝要なのは既存施設の有効活用である。

中学校体育館下ピロティの設計当初の利用計画及び活用状況は、

須賀 教学課長 柔剣道場構想が有ったが多目的ホールや空き教室、高校武道館の有効活用を優先し、具体化には至らなかった。

現在は、スポ少サッカー・中学校ジュニア野球・グラウンドゴルフ・スポ少野球等、多く活用されている。



多目的室内運動場

状況を見ると、地面が平らでなく、危険であり練習にも支障がある。改善の考えは、

中村 忠行 議員 町多目的室内運動場（旧室内ゲートボール場）の活用状況は

危険防止対策を行えば球技スポーツに積極的に活用出来るのではないかと。

中村 忠行 議員 明安小グラウンドは、排水もよくPTA活動も盛んであり野球やスキーに連日活用されている。夕暮れ

中村 忠行 議員 町多目的室内運動場（旧室内ゲートボール場）の活用状況は

中村 忠行 議員 明安小グラウンドは、排水もよくPTA活動も盛んであり野球やスキーに連日活用されている。夕暮れ



中学校ピロティでの練習

時には、照明設備1機では、安全面からも不足である。増設の考えは、

今後の活動の在り方など単位団の声を聴き、方向性を示す必要がある。町民グラウンドや他の施設を活用していただき、使用頻度や費用対効果、今後の需要を勘案し、補助金の活用について検討していく。